

台湾本島において ランピースキン病が発生

台湾本島北部の新北市の肉牛農場において、ランピースキン病の発生が確認されました。台湾本島での発生は今回が第1例目となります。

★ランピースキン病とは

アフリカ、マダガスカル島で発生し、近年中近東の国々にまで及ぶ。河川流域や低地に多く、多湿な夏季に多い。接触や唾液(飼料、飲水、昆虫介在)で感染し、発熱、食欲不振のほか全身、特に頸部、背、脚部、外陰部等に多数の結節・腫瘤が現れる。有効な治療法はなく、万一清浄国の日本国内で発生が認められた場合には、早期摘発淘汰が必要。

牛を飼養している皆様へのお願い

- ✓ 毎日健康観察を行い、ランピースキン病を疑う臨床症状が見られた場合は速やかに家畜保健衛生所に届け出てください。
- ✓ 本病を媒介する節足動物(ハエ、カ、ヌカカ、ダニ)駆除等対策を必要に応じ実施してください。

連絡先: 山梨県東部家畜保健衛生所

電話: 055-262-3166 FAX: 055-262-3108

夜間・土日・休日の連絡先: 090-5535-8005

土日・休日の連絡先: 090-5544-7868

★経緯および発病牛、採材、埋却の様子

4/14 新北市の農場でしこり、発熱症状の牛8頭を発見

4/15 PCRの結果同病ウイルスを検出し、8頭を殺処分。

4/16 発生農場から半径10km以内の飼養牛にワクチン接種

(写真出典:台湾行政院農業委員会 2021年4月15日付プレスリリース添付資料)



出典: Google Maps